

第1章 トヨタの中国事業沿革

トヨタの中国事業沿革、中国進出経緯・最新動向を掲載、主要経営陣の紹介で事業全般を説明

第2章 トヨタの中国事業概要及び戦略

トヨタの完成車事業： 2021年までに中国生産能力174万台に増強、NEV製品投入や生産体制整備を加速し事業本格化へ
 CAFC・NEV規制対応： HEV好調でCAFC規制対応に有利、PHEV/EV投入を加速しNEV規制に対応
 CASEを巡る事業戦略・動向： 自社開発とともに提携強化によりCASEに対応、サプライヤーは電動車用部品増産に注力
 部品増産・調達動向： 完成車工場の近隣に部品工場を整備、調達方針の転換や能力増強を通じて電動車増産に備える

第3章 完成車の事業動向

一汽トヨタ： 2018年の販売台数は4.3%増の71.9万台、生産能力の増強・調整を通じて生産性向上に注力
 広汽トヨタ： 2018年販売台数は31.1%増の58万台、年間生産能力20万台のEV工場建設に着手
 Lexus事業： 2018年の中国販売は16万台で過去最高を更新、製品品質向上とサービス強化でシェア拡大へ

第4章 主要サプライヤーの事業動向

アイシングループ： 中国でAT増産を推進、CASE対応策として電動化や自動運転製品の開発を加速
 デンソー： 「中国部」を設立しCASE技術の開発を加速、
 既存事業強化と共に合弁会社の設立でEV市場への参入を拡大
 Primearth EV Energy： HEV用Ni-MHの増産を実施、2021年までに年間40万台分超の能力を整備へ
 トヨタ紡織： 2018年度中国売上高は前年度比微増、一貫生産体制の整備を加速
 ジェイテクト： 2018年度の中国売上高は1.7%増、RP-EPSを生産開始し中大型・高級車への拡販へ
 豊田合成： 組織再編により中国事業効率化を図り、CASE対応製品の早期投入を推進
 愛三工業： トヨタの合弁企業を中心に製品を納入、電動化関連部品の現地生産は様子見の傾向
 フタバ産業： 2018年度は業績好調を維持、広州拠点の生産能力増強で需要増に対応
 中央発條： 2018年度の中国事業は増収増益、EV関連製品開発に注力し業績拡大を目指す
 東海理化： 既存生産能力の有効活用で受注増に対応独立した営業技術拠点の新設で事業強化を目指す
 愛知製鋼： 中国拠点へ増資して磁石事業を強化、EVモーター市場への参入を視野へ
 小糸製作所： 上海小糸の売却で2018年度減収減益、既存工場の拡張を通じて受注増に対応
 豊田自動織機： コンプレッサーの需要増加を見込み、中国での生産能力増強を実施
 三五： 日系メーカーの製販好調を受け、中国での生産能力増強を実施
 大豊工業： 2018年度の中国業績は微増、電動化や排ガス規制対応製品の拡充で受注拡大を目指す
 豊田鉄工： 天津及び広州の2拠点で対応、新技術を導入し、軽量化につながる高強度鋼板を生産
 キャタラー： 国6規制対応で活性炭シートを投入、シェアリングサービスやタクシーでの活用も検討
 共和レザー： 中国事業は10年ぶり減収、現地生産体制を強化し将来需要増に対応
 ファインシンター： 2019年の中国事業は減収の予想、TNGA部品の生産によりトヨタ向け受注拡大へ
 中央精機/小島プレス工業： 広汽トヨタを中心に製品納入、問われるトヨタの中国増産戦略への対応策

第5章 トヨタの中国研究開発事業

トヨタの中国研究開発事業： TMECを中心に電動車現地開発を推進、AIや自動運転の研究開発拠点の新設も視野へ

トヨタの中国戦略

～積極的な拡大路線へ大きく転換、VWと並ぶ事業規模目指す～

- ☆トヨタの中国電動車（HEV+NEV）戦略とNEV規制対応を解説!!
- ☆CASE対応に向けた技術開発や現地企業との提携動向を報告!!
- ☆一汽トヨタ、広汽トヨタ、中国でのLexus事業の最近取り組みを網羅!!
- ☆トヨタ系主要サプライヤー21社の中国事業概況・戦略を詳報!!

■ 発刊：2019年9月27日 ■ 体裁：A4判、163頁 ■ 価格：140,000円+税、国内送料込

トヨタの2018年中国乗用車販売台数(Lexusを含む)は前年比15.9%増の146.3万台、2019年1～6月も前年同期比14.2%増の78.2万台(CAAMデータ)と、中国自動車業界が低迷するなかで好調が続いています。中期的には中国市場の大幅な成長を見込んでおり、現地生産を2025年280万台、2030年に350万台規模に引き上げることを計画しています。

一方、2019年から実施したNEV規制(乗用車メーカーに対して一定比率のNEV生産(NEV=PHEV、EV、FCEV)を義務付けた規制)をクリアするため、2019年3月に一汽トヨタ、広汽トヨタからそれぞれPHEVモデルを投入したほか、2020年にEVモデルの正式導入を皮切りに、EV事業の本格展開も目指しています。FCEVについても、北京汽車や清華大学との共同開発を推進しており、2023年を目処に製品投入を計画しています。

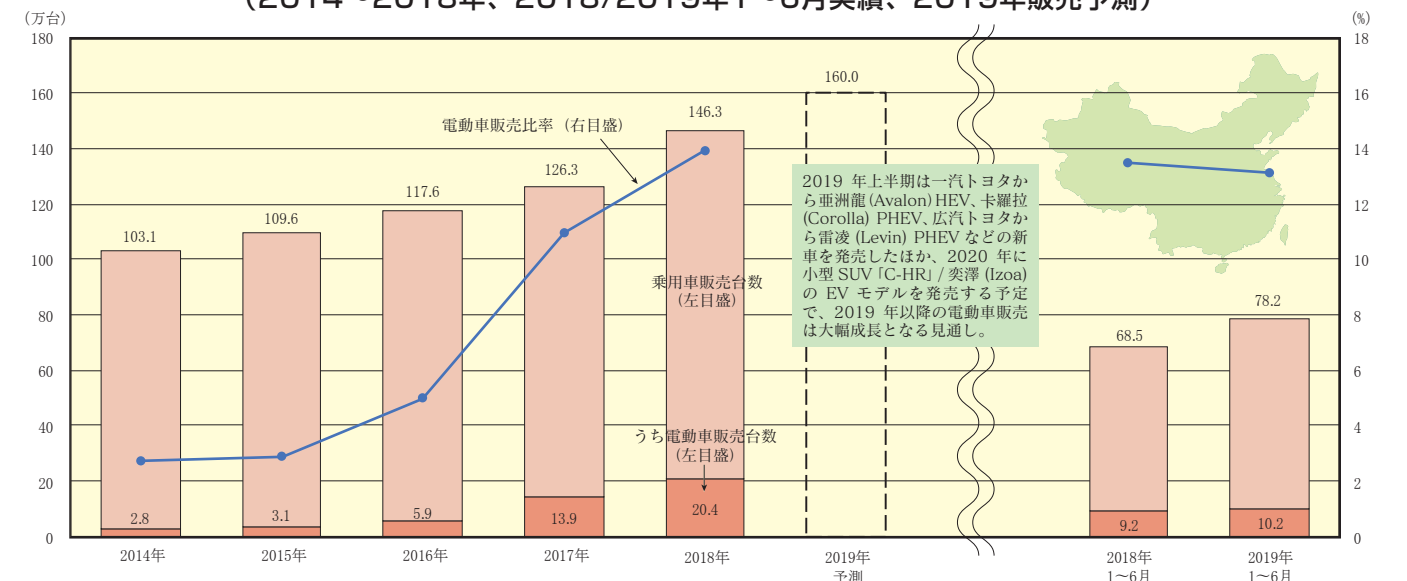
また、自動車業界に押し寄せているCASE時代への対応策として、トヨタは関連技術の自社開発を進めるほか、「仲間づくり」をキーワードに、競合関係を越えた提携関係の構築により変革に挑む方針を打ち出しました。上記方針に基づき、自動運転では検索エンジン大手の百度(Baidu)やスタートアップの「小馬智行(Pony.ai)」と、シェアリングでは配車サービス最大手の滴滴出行(DiDi)との協業を明らかにし、開発技術や生産技術、販売網など相互の強みを生かして競争力強化を狙っています。

トヨタの大々的な中国増産計画を受け、傘下主要サプライヤーは既存製品の生産体制強化を推進しています。また、2020年以降のEV事業の本格展開に伴う関連部品の需要拡大を見込み、一部の企業が市場参入を加速させています。アイシングループはEV用変速機の生産能力整備、デンソーは現地企業とEV用モーターコントローラーを製販する合弁会社の設立などが例として挙げられます。愛知製鋼や大豊工業など中国事業規模が比較的小さいサプライヤーもEV関連事業を今後の成長分野に位置付け、市場参入に向けた検討を行っています。

本調査報告書では電動化戦略をはじめとするトヨタの製品投入戦略や生産能力増強等の詳しい情報を収集しており、CASE対応に向けた技術開発、協業取り組みも紹介します。さらに、トヨタ系主要サプライヤーの事業概要及び最新動向を整理します。当案内をご高覧のうえ、関係部署ともご相談いただき、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

トヨタ、中国における乗用車販売台数/電動車販売比率

(2014～2018年、2018/2019年1～6月実績、2019年販売予測)



注) 2015～2016年のカローラ(Corolla) HEV販売台数は未発表。Lexusの販売台数を含む。2019年予測はFOURINによる。(CAAM工場出荷データ、自動車保険データよりFOURIN作成)

トヨタのCAFC・NEV規制対応策を紹介!!

第2章 CAFC・NEV規制対応

CAFC・NEV規制対応、HEV好調でCAFC規制対応に有利、PHEV/EV投入を加速しNEV規制に対応

中国では2018年4月よりCAFC(平均燃費率)の削減目標とNEV(新エネルギー車)の導入目標が...

トヨタは中国一気の出発点として2019年にPHEVを投入し、2020年にはEVの投入を予定している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

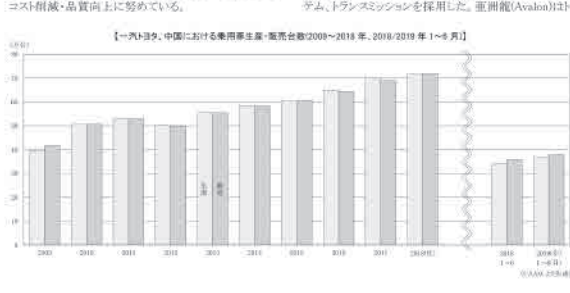


トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

一汽トヨタ、2018年の販売台数は4.3%増の71.9万台、生産能力の増強・調整を通じて生産性向上に注力

トヨタと中国一気の出発点として2019年にPHEVを投入し、2020年にはEVの投入を予定している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...



トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

Table with 4 columns: Model, Sales Volume, Production Capacity, etc. for various Toyota models in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

完成車合併会社の取り組みや現地Lexus戦略を解説!!

第3章 完成車

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...



トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

Table with 4 columns: Model, Sales Volume, Production Capacity, etc. for various Toyota models in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...



トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

Table with 4 columns: Model, Sales Volume, Production Capacity, etc. for various Toyota models in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

CASE対応に向けた現地技術開発や提携動向を整理!!

第4章 CASE

CASEを巡る事業戦略・動向、自社開発とともに提携強化によりCASEに対応、サプライヤーは電動車部品増産に注力

CASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)分野での技術開発が業界全体で加速する中、トヨタが幅広い技術分野に全方位で対応している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...

Table with 4 columns: Category, Content, Status, etc. detailing CASE-related activities and partnerships.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタ系主要サプライヤー21社の事業動向・戦略を調査!!

第4章 サプライヤー

デンソー、「中国部」を設立しCASE技術の開発を加速、既存事業強化と共に合併会社の設立でEV市場への参入を拡大

デンソーは中国でワットレインやカーエレクトロニクス部品を製造している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...

Table with 4 columns: Company, Content, Status, etc. detailing Denso's activities in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタ系主要サプライヤー21社の事業動向・戦略を調査!!

第4章 サプライヤー

アイシン精機、現地メーカーとの長期的な関係を構築し、中国市場のニーズをタイムリーに把握する

アイシン精機は中国でワットレインやカーエレクトロニクス部品を製造している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...

Table with 4 columns: Company, Content, Status, etc. detailing Aisin's activities in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点

トヨタ系主要サプライヤー21社の事業動向・戦略を調査!!

第4章 サプライヤー

Primearth EV Energy、HEV用Ni-MHの増産を実施、2021年までに年間40万台分起の能力を整備へ

Primearth EV Energyは中国でワットレインやカーエレクトロニクス部品を製造している...

トヨタは2017年12月、2018年に約240万台のEVを販売する計画を発表した...

Table with 4 columns: Company, Content, Status, etc. detailing Primearth's activities in China.

トヨタ、中国CAFC・NEV規制対応に向けた電気系部品2大調達品目別の調達計画2018年8月時点